



L

Last Updated: June 20, 2007

list name

list number delete

list number description

list number member

list number owner

locale (ccn trigger http) : IVR のみ

locale (ccn trigger jtapi)

locale (ccn trigger sip)

log console

log console monitor

log server

log trace boot

log trace buffer save

list name

パブリック同報リストを作成するには、Cisco Unity Express 設定モードで **list name** コマンドを使用します。このコマンドには **no** 形式はありません。

list name list-name number list-number create

シンタックスの説明

<i>list-name</i>	リストの名前。有効な名前には、最大 64 文字の A ~ Z、a ~ z、0 ~ 9、下線 (_)、ドット (.)、およびダッシュ (-) を使用できます。名前の先頭は英字にする必要があります。名前にはスペースは使用できません。
<i>number list-number</i>	リストの番号。有効となるパブリック リスト番号は、最大 15 桁です。
<i>create</i>	リストをアクティブにします。

デフォルト

システムの全ユーザを含む、番号が 9999 の everyone リストが作成されます。

コマンド モード

Cisco Unity Express 設定

コマンド履歴

Cisco Unity Express リリース

変更点

2.1 このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

各リストには、一意の名前または番号を割り当てる必要があります。

最大 15 のパブリック リストがサポートされます。

リスト番号は、ユーザまたは General Delivery Mailbox (GDM; 共用メールボックス) の電話番号と同じものにできますが、別のローカルパブリック リストの番号と同じものにはできません。

システムは、デフォルトの **everyone** パブリック リストには 9999 を自動的に割り当てます。管理者は、GUI メニュー オプションの **Voice Mail > Distribution Lists > Public Lists** を使用してこの番号を変更することができます。TUI オプションまたは CLI コマンドを使用して番号 9999 を変更することはできません。

ローカル ユーザは、リモート同報リストを変更したり、リモート同報リストをボイス メッセージの受信者として使用したりすることはできません。



(注) プライベート同報リストを作成および管理するには、グラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) または電話ユーザ インターフェイス (TUI) を使用します。

例

次の例では、名前が **designers** で、番号が 12 のパブリック同報リストが作成されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# list name designers number 12 create
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド

コマンド	説明
list number delete	パブリック同報リストをローカル システムから削除します。
list number description	パブリック同報リストに説明を割り当てます。
list number member	パブリック同報リストにメンバーを割り当てます。
list number owner	パブリック同報リストに所有者を割り当てます。
show lists	システム上のパブリック リストをすべて表示します。

list number delete

ローカル システムからパブリック同報リストを削除するには、Cisco Unity Express 設定モードで **list number delete** コマンドを使用します。このコマンドには **no** 形式はありません。

list number list-number delete

シンタックスの説明	<i>list-number</i> リストの番号。有効となるパブリック リスト番号は、最大 15 桁です。
------------------	--

デフォルト	削除されるリスト番号はありません。
--------------	-------------------

コマンド モード	Cisco Unity Express 設定
-----------------	------------------------

コマンド履歴	Cisco Unity Express
	リリース 変更点
2.1	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	リストが存在しない場合は、エラー メッセージが表示されます。 ローカル ユーザまたは管理者は、リモート サイトのパブリック同報リストを削除できません。
-------------------	--



(注) プライベート同報リストを作成および管理するには、グラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) または電話ユーザ インターフェイス (TUI) を使用します。

例	次の例では、リスト番号 35 が削除されます。
----------	-------------------------

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# list number 35 delete
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	list name	パブリック同報リストを作成します。
	list number description	パブリック同報リストに説明を割り当てます。
	list number member	パブリック同報リストにメンバーを割り当てます。
	list number owner	パブリック同報リストに所有者を割り当てます。
	show lists	システム上のパブリック リストをすべて表示します。

list number description

パブリック同報リストに説明を追加するには、Cisco Unity Express 設定モードで **list number description** コマンドを使用します。説明を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

list number *list-number description description*

no list number *list-number description description*

シンタックスの説明		
<i>list-number</i>		リストの番号。有効となるパブリック リスト番号は、最大 15 桁です。
<i>description</i>		テキストによるリストの説明。テキストが 2 語以上になる場合は、二重引用符 (“ ”) で囲みます。

デフォルト 説明は定義されていません。

コマンド モード Cisco Unity Express 設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express	
	リリース	変更点
	2.1	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン リストが存在しない場合は、エラー メッセージが表示されます。



(注) プライベート同報リストを作成および管理するには、グラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) または電話ユーザ インターフェイス (TUI) を使用します。

例 次の例では、リスト番号 35 に説明が割り当てられます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# list number 35 description "SJC Engineers"
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	list name	パブリック同報リストを作成します。
	list number delete	パブリック同報リストをローカル システムから削除します。
	list number member	パブリック同報リストにメンバーを割り当てます。
	list number owner	パブリック同報リストに所有者を割り当てます。
	show lists	システム上のパブリック リストをすべて表示します。

list number member

パブリック同報リストにメンバーを追加するには、Cisco Unity Express 設定モードで **list number member** コマンドを使用します。リストからメンバーを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
list number list-number member {member-name | extension}
```

```
type {group | user | gdm | list | remote | blind}
```

```
no list number list-number member {member-name | extension}
```

```
type {group | user | gdm | list | remote | blind}
```

シンタックスの説明

<i>list-number</i>	リストの番号。有効となるパブリック リスト番号は、最大 15 桁です。
<i>member-name</i>	追加するメンバーの名前。有効なメンバーには次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ローカル ユーザまたはリモート ユーザ グループ ID 共用メールボックス (GDM) 名 ボイスメールボックスの内線番号 (ブラインドアドレス) 別のパブリック同報リストのメンバー 別のパブリック同報リスト名
<i>extension</i>	追加するメンバーの内線番号。
<i>type</i>	メンバーのカテゴリ。有効となる値は、次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> group : メンバーはグループ user : メンバーはローカル ユーザ gdm : メンバーは共用メールボックス list : メンバーはパブリック同報リストのメンバー remote : メンバーはリモート ユーザ blind : メンバーはボイスメールボックスの内線番号 (ブラインドアドレス)

デフォルト

リスト メンバーは設定されていません。

コマンド モード

Cisco Unity Express 設定

コマンド履歴

Cisco Unity Express

リリース 変更点

2.1	このコマンドが導入されました。
-----	-----------------

使用上のガイドライン

メンバー名または内線番号が存在しない場合は、エラー メッセージが表示されます。また、パブリック リストにメンバーが含まれていることが、システムによって確認されます。リストが空の場合、システムは、リストにメンバーが含まれていないことを示すメッセージを再生し、リストをメッセージの受信者として使用できないようにします。

パブリック リストのメンバーの最大数は、1 システムあたり 1000 です。新しいメンバーを追加すると最大数を超える場合は、エラー メッセージが表示されます。

ローカル システムに静的に設定されているリモート ユーザは、同報リストのメンバーに指定できません。ただし、そのリモート ユーザはローカル システム上で同報リストを所有することはできません。

プライベート リストをパブリック リストのメンバーにすることはできません。

再帰同報リストが使用可能です。たとえば、リスト A をリスト B のメンバーにし、リスト B をリスト A のメンバーにすることができます。

ブラインドアドレスを使用するには、ブラインドアドレスのロケーション ID と内線番号を指定します。システムはロケーション ID と内線番号の桁数を確認します。



(注) プライベート同報リストを作成および管理するには、グラフィカルユーザインターフェイス (GUI) または電話ユーザインターフェイス (TUI) を使用します。

例

次の例では、リスト番号 35 にメンバーが割り当てられます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# list number 35 member user2 type user
se-10-0-0-0(config)# list number 35 member user7 type user
se-10-0-0-0(config)# list number 35 member supervisors type group
se-10-0-0-0(config)# list number 35 member sales type gdm
se-10-0-0-0(config)# list number 35 member project3 type list
se-10-0-0-0(config)# list number 35 member user4 type remote
se-10-0-0-0(config)# list number 35 member nyc72222 type blind
se-10-0-0-0(config)# exit
```

次の例では、リスト番号 35 からメンバーが削除されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# no list number 35 member user2 type user
se-10-0-0-0(config)# no list number 35 member sales type gdm
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド

コマンド	説明
list name	パブリック同報リストを作成します。
list number delete	パブリック同報リストをローカル システムから削除します。
list number description	パブリック同報リストに説明を割り当てます。
list number owner	パブリック同報リストに所有者を割り当てます。
show lists	システム上のパブリック リストをすべて表示します。

list number owner

パブリック同報リストに所有者を割り当てるには、Cisco Unity Express 設定モードで **list number owner** コマンドを使用します。リスト所有者を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

list number list-number owner owner-ID

no list number list-number owner owner-ID

シンタックスの説明		
<i>list-number</i>	リストの番号。有効となるパブリック リスト番号は、最大 15 桁です。	
<i>owner-ID</i>	リスト所有者の名前。	

デフォルト リスト番号またはリスト所有者は設定されていません。

コマンドモード Cisco Unity Express 設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express	リリース	変更点
	2.1		このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン リスト所有者には、ローカル ユーザまたはローカル グループを指定できます。所有者がグループの場合、グループのメンバーはすべてリストの所有者になります。デフォルトの **everyone** リストに所有者を割り当てることはできません。

リスト所有者は、リストのメンバーを編集および削除できます。また、リストに他の所有者を割り当てることもできます。

リスト番号またはリスト所有者が存在しない場合は、エラー メッセージが表示されます。

1 システムあたりの所有者の最大数は 50 です。新しい所有者 ID を追加するとリスト所有者の最大数を超える場合は、エラー メッセージが表示されます。

Administrators グループのメンバーは、すべてのパブリック同報リストの暗黙的な所有者となり、いつでも任意のパブリック リストを編集できます。リストの所有者がすべて削除されても、Administrator グループは引き続きリストの所有権を保有します。

パブリック同報リストまたはプライベート同報リストの所有者は、TUI を使用してリストの音声名を録音することができます。デフォルトの **everyone** パブリック リストには、デフォルトで音声名が割り当てられています。管理者は、TUI を使用してこの名前を変更することができます。



(注) プライベート同報リストを作成および管理するには、グラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) または電話ユーザ インターフェイス (TUI) を使用します。

例 次の例では、リスト番号 35 の所有者として user2 が割り当てられます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# list number 35 owner user2
se-10-0-0-0(config)# exit
```


次の例では、リスト 35 の所有者が削除されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# no list number 35 owner user2
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド

コマンド	説明
list name	パブリック同報リストを作成します。
list number delete	パブリック同報リストをローカルシステムから削除します。
list number description	パブリック同報リストに説明を割り当てます。
list number member	パブリック同報リストにメンバーを割り当てます。
show lists	システム上のパブリック リストをすべて表示します。

locale (ccn trigger http) : IVR のみ

Cisco Unity Express IVR HTTP ベースのトリガーがアクティブになっているときに、発信者に再生するプロンプトで使用する言語を指定するには、Cisco Unity Express IVR HTTP トリガー設定モードで **locale** コマンドを使用します。言語を *systemDefault* に設定するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

locale *xx_YY*

no locale

シンタックスの説明	<i>xx_YY</i>	発信者に再生するプロンプトで使用する言語を指定します。Cisco Unity Express IVR は複数の言語をサポートしていますが、システム上のすべてのトリガーで使用できる言語は 1 つのみです。
------------------	--------------	---

コマンドデフォルト デフォルトのロケールは *systemDefault* です。

コマンドモード Cisco Unity Express IVR HTTP トリガー設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express
	バージョン 変更点
	3.0 このコマンドが導入されました。

例 次の例では、トリガーの言語がアメリカ英語に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn trigger http urlname myhttpapp
Adding new trigger
se-10-0-0-0(config-trigger)# locale en_US
se-10-0-0-0(config-trigger)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

次の例では、トリガーの言語がデフォルト (*systemDefault*) に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn trigger http urlname myhttpapp
Adding new trigger
se-10-0-0-0(config-trigger)# no locale
se-10-0-0-0(config-trigger)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show ccn trigger http : IVR のみ	トリガーおよびアプリケーションの設定を表示します。Cisco Unity Express IVR の HTTP ベース トリガーの設定を表示するには、 show ccn trigger http コマンド オプションを使用します。

locale (ccn trigger jtapi)

JTAPI トリガーがアクティブになっているときに、発信者に再生するプロンプトで使用する言語を指定するには、Cisco Unity Express CCN トリガー設定モードで **locale** コマンドを使用します。言語をシステムのデフォルトに設定するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

locale *xx_YY*

no locale

シンタックスの説明	<i>xx_YY</i>	発信者に再生するプロンプトで使用する言語を指定します。Cisco Unity Express は複数の言語をサポートしていますが、システム上のすべてのトリガーで使用できる言語は 1 つのみです。現在サポートされている言語のリストについては、『 Release Notes for Cisco Unity Express 2.3 』を参照してください。
-----------	--------------	---

デフォルト アメリカ英語

コマンドモード CCN トリガー設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express	
	リリース	変更点
	1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
	1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
	1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

例 次の例では、トリガーの言語がフランス語に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn trigger jtapi phonenumber 1234
se-10-0-0-0(config-trigger)# locale fr_FR
se-10-0-0-0(config-trigger)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ccn trigger jtapi phonenumber	トリガー設定モードを開始します。
	show ccn trigger all	CCN トリガーの詳細を表示します。

locale (ccn trigger sip)

SIP トリガーがアクティブになっているときに、発信者に再生する SIP システム プロンプトで使用する言語を指定するには、Cisco Unity Express CCN トリガー設定モードで **locale** コマンドを使用します。言語をシステムのデフォルトに設定するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

locale *xx_YY*

no locale

シンタックスの説明	<i>xx_YY</i>	発信者に再生するプロンプトで使用する言語を指定します。Cisco Unity Express は複数の言語をサポートしていますが、システム上のすべてのトリガーで使用できる言語は 1 つのみです。現在サポートされている言語のリストについては、『 Release Notes for Cisco Unity Express 2.3 』を参照してください。
-----------	--------------	---

デフォルト アメリカ英語

コマンド モード CCN トリガー設定

コマンド履歴	Cisco Unity Express	
	リリース	変更点
	1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
	1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
	1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

例 次の例では、トリガーの言語がフランス語に設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# ccn trigger sip phonenum 1234
se-10-0-0-0(config-trigger)# locale fr_FR
se-10-0-0-0(config-trigger)# end
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド	コマンド	説明
	ccn trigger sip phonenum	トリガー設定モードを開始します。
	show ccn trigger all	CCN トリガーの詳細を表示します。

log console

コンソールに表示するメッセージの種類を設定するには、Cisco Unity Express 設定モードで **log console** コマンドを使用します。メッセージが表示されない状態にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
log console {errors | info | warning}
```

```
no log console {errors | info | warning}
```



注意

このコマンドを使用すると多くの画面メッセージが生成され、メッセージの表示をオフにするまで画面が下方方向にスクロールされます。表示をオフにするためのプロンプトは、見えにくい場合があります。Ctrl+C の押下は、このコマンドでは機能しません。

シンタックスの説明

<i>errors</i>	エラー メッセージ。
<i>info</i>	情報メッセージ。
<i>warning</i>	警告メッセージ。

デフォルト

致命的なエラー メッセージのみが表示されます。

コマンド モード

Cisco Unity Express 設定

コマンド履歴

Cisco Unity Express

リリース	変更点
1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

使用上のガイドライン

コンソール画面のメッセージは、messages.log ファイルにも保存されます。これらのメッセージは、デバッグに利用することができます。

例

次の例では、コンソールにエラー メッセージが表示されるように設定されます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# log console errors
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド

コマンド	説明
show logging	コンソールに表示されるメッセージのタイプを表示します。

log console monitor

コンソールにシステム メッセージを表示するには、Cisco Unity Express 設定モードで **log console monitor** コマンドを使用します。メッセージが表示されない状態にするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

log console monitor {*module* | *entity* | *activity*}

no log console monitor {*module* | *entity* | *activity*}



注意

このコマンドを使用すると多くの画面メッセージが生成され、メッセージの表示をオフにするまで画面が下方向にスクロールされます。表示をオフにするためのプロンプトは、見えにくい場合があります。Ctrl+C の押下は、このコマンドでは機能しません。

シンタックスの説明

module	Cisco Unity Express のモジュール。
entity	Cisco Unity Express のモジュール エンティティ。
activity	Cisco Unity Express のエンティティ アクション。

デフォルト

致命的なエラー メッセージのみが表示されます。

コマンド モード

Cisco Unity Express 設定

コマンド履歴

Cisco Unity Express	
リリース	変更点
1.0	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
1.1	このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

使用上のガイドライン

コンソール モニタのメッセージは、messages.log ファイルにも保存されます。これらのメッセージは、デバッグに利用することができます。

例

次の例では、ネットワーキング モジュールのデータベース エンティティの結果に関するメッセージが表示されます。

```
se-10-0-0-0# log console monitor networking database results
```

関連コマンド

コマンド	説明
show logging	コンソールに表示されるメッセージのタイプを表示します。

log server

ログメッセージを保存するように外部サーバを設定するには、Cisco Unity Express 設定モードで **log server** コマンドを使用します。ログサーバを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

log server address {ip-address | hostname}

no log server address {ip-address | hostname}

シンタックスの説明

address ip-address	外部ログサーバの IP アドレス。
address hostname	外部ログサーバのホスト名。

デフォルト

外部ログサーバは設定されていません。ログメッセージの保存には、ローカルハードディスクが使用されます。

コマンドモード

Cisco Unity Express 設定

コマンド履歴

Cisco Unity Express リリース		変更点
1.0		このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュールおよび Cisco Unified Communications Manager Express 3.0 で導入されました。
1.1		このコマンドが、拡張統合モジュール (AIM) および Cisco Unified Communications Manager 3.3(3) で実装されました。
1.1.2		このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

使用上のガイドライン

外部ログサーバには、Cisco Unity Express モジュールがあるルータのハードディスクに保存される messages.log ファイルのコピーが保存されます。サーバにファイルをコピーすることによって、システムメッセージの表示、印刷、トラブルシューティングを柔軟に行うことができます。

例

次の例では、外部ログサーバとして 10.1.61.16 が割り当てられます。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# log server address 10.1.61.16
se-10-0-0-0(config)# exit
```

関連コマンド

コマンド	説明
hostname	Cisco Unity Express アプリケーションが導入されているサーバを指定します。
ntp server	NTP クロック同期化サーバを指定します。
show hosts	設定されているすべてのホストを表示します。
show running-config	ログサーバを設定の一部として表示します。

log trace boot

再起動時にトレース設定を保存するには、Cisco Unity Express EXEC モードで **log trace boot** コマンドを使用します。

log trace boot

シンタックスの説明 このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

コマンドモード Cisco Unity Express EXEC

コマンド履歴	Cisco Unity Express	
	リリース	変更点
1.1		このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュール (NM)、拡張統合モジュール (AIM) 、および Cisco Unified Communications Manager Express 3.3(3) で導入されました。
1.1.2		このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

使用上のガイドライン トレースは CPU を集中的に使用するため、現在のトレース設定は再起動時に失われます。CUE モジュールの再起動時に現在のトレース設定を保存するには、**log trace boot** コマンドを使用します。

例 次の例は、**log trace boot** コマンドの使用方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# log trace boot
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show trace	トレースの対象になっているモジュールおよびエンティティを表示します。

log trace buffer save

現在のトレース情報を保存するには、Cisco Unity Express EXEC モードで **log trace buffer save** コマンドを使用します。ログトレースをオフにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

log trace buffer save

no log trace buffer

シンタックスの説明 このコマンドには、引数およびキーワードはありません。

コマンドモード Cisco Unity Express EXEC

コマンド履歴	Cisco Unity Express	
	リリース	変更点
	1.1	このコマンドが、Cisco Unity Express ネットワーク モジュール (NM)、拡張統合モジュール (AIM) 、および Cisco Unified Communications Manager Express 3.3(3) で導入されました。
	1.1.2	このコマンドが、Cisco 2800 シリーズおよび Cisco 3800 シリーズのルータで実装されました。

使用上のガイドライン メモリ バッファに保存されている現在のトレース情報をファイルに保存できます。**log trace buffer save** コマンドで作成されるファイルは、`atrace_save.log` です。

例 次の例は、**log trace buffer save** コマンドの使用方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# log trace buffer save
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show logs	トレース ログのリストを表示します。
	show trace buffer	トレースの対象になっているモジュールおよびエンティティを表示します。

